

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひかりの里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		グループホームの今後の在り方について	開設時(12年前)は入居できる方が、日常生活が出来て、共同生活が出来た人であったが、利用者の重度化が進む中で、看取り介護まで実施するように、加算もついてきたが、今の人員配置で、介護サービスの質を落とさずに、実践できる方法を検討していく。	利用者の重度化が進み職員の介護の負担も倍に増え、職員の疲弊が見えてきたので、介護サービスの内容を検討し、利用者の身体機能を維持するための介護の実践に取組み、自立支援を妨げる介助になっていないかを確認していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	職員の募集をしてもなかなか採用まで至らない現状の中で、職員の質の向上と確保は、重要であるので、職員の知識を向上させて、一人ひとりの意識の高揚に繋げていく。	職員の習熟度や経験に合わせて、外部の研修会に交代で参加して貰い、知識の習得だけではなく、外部に出掛けて見聞を広め、他施設で頑張っている職員の刺激を受けて、職員一人ひとりの意識を高めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。